

<ご案内・現地で学ぶ集いです・お気軽にどなたでもどうぞ>

ご案内 第20回福岡県公務・公共従事者のための交流集会

長崎街道・木屋瀬の歴史地区保存に学ぶ、於・直方いこいの村

*最近職場での組合員獲得や12年ぶりの環境業務員や、東北3県・犠牲ゼロで知られる公的保育の意義の再認識を粘り強い取り組みで引き出し10年ぶりの保育士の4月採用を実現した北九州市、筑前六宿で知られる木屋瀬・町並み保存の住民運動の長い歴史に学びます。乞う御期待。申し込みは研究所まで。

<日時> 3月24~25日(土、日)
<会場> 直方いこいの村

(直方市大字畑686番地、電話0949・24・9700)

<内容・次第>

24日(土) 開会14時(受付13時半から)

第一部、シンポジウム・交流集会

「3. 11から1周年・・・今あらためて公務・公共の役割を問う」

基調講演・・・三輪俊和・北九州市立大学名誉教授

現場からの実践報告と交流・・・国家公務員、県庁、政令市、市町村、保育所、農家、生活保護、議員、ジャーナリスト etc

第二部、18時 夕食・懇親交流会、

第三部、夜鍋談議(希望者のみ) 21時・東日本複合型巨大震災を語る

ビデオ(1月9日のNHKスペシャル、『日本復興のために』、支援者からの現地報告

25日(日)・・・第四部 見学会・フイールドワーク

9時~12時半・・・見学会・フイールドワーク

◎直方谷尾美術館

◎長崎街道・木屋瀬の歴史地区保存と現代に生かす住民の運動、足跡に学ぶ
木屋瀬宿記念館・みちの郷土資料館・こやのせ座など地元の方のご案内で

12時半 解散・昼食

<参加費>・・・13,000円(一泊2食、資料代、講師謝礼、諸経費)、一日目夜まで1万円、第一部のみ千円

<申し込み> 予約の関係がありますので研究所まで早めにお問い合わせします。

主催・社団法人福岡県自治体問題研究所

812-0011 福岡市博多区博多駅前1-19-3-508

tel/fax 092-472-4675

メールアドレス ititi@ked.biglobe.ne.jp

長崎街道とは

長崎街道は、江戸幕府唯一の開港場長崎と小倉・大里を結ぶ、脇街道でした。肥前佐賀藩領では、彼村・埴田・多良の3道筋に分かれていたため、宿駅の数は一定せず、彼村道のコーナーまで25.6宿を数えまじった。長崎街道は、世界の文物や情報を、大阪・京都や江戸そして全国に伝える道であり、また、オランダ商館長や、参勤交代の九州諸大名、文人、商人らも利用する交通量の多い道として九州でもっとも重要な役割を担っていました。

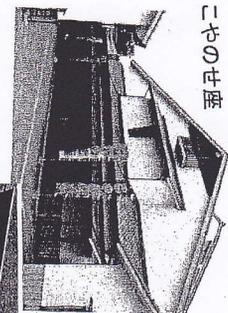
木屋瀬は、豊かな自然に恵まれて、街道と水運で栄えた宿場町です。かつて舟着き場の目印だった大観杵は、今は長崎街道木屋瀬宿記念館の目印となっています。

歴史への旅体験をテーマとした「みちの郷土資料館」と芝居小屋風の多目的ホール「こやのせ座」からなる長崎街道木屋瀬宿記念館。

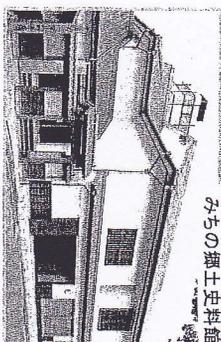
この施設は、宿場町の御茶屋(本陣)・町茶屋(脇本陣)跡地に建っています。旅人の気分を味わいながら、宿場町の風情を感じてください。



長崎街道木屋瀬宿記念館



こやのせ座



みちの郷土資料館



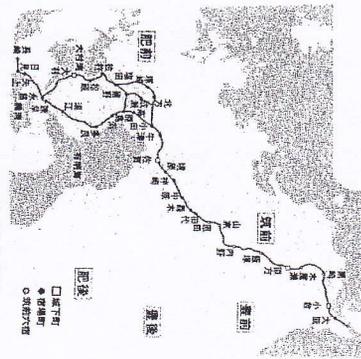
直方谷尾美術館

昭和初期に建てられた洋館風の美術館には、数多くの収蔵品が展示されています。

近頃、長崎街道木屋瀬宿で観光客の姿を目にする事が多くなりました。歴史小説好きの私もこの宿場町を歩いてみることにしました。「みちの郷土資料館」に展示されている道中記(旅のガイド本)を見て俄然江戸時代に興味が湧き帰宅後インターネット上で調べた。江戸時代の情報網の発達、江戸時代と現代の情報網のタイムラプスやオンラインの比較へと興味は膨らんでいった。



道中記「みちの郷土資料館」所蔵



お名前・所属など < 申 込 書 > お名前・所属など

- 交通ご案内**
- 筑豊本線直方駅下車
 - 西鉄バス筑豊、内ヶ瀬線直方いこいの村入口下車徒歩5分
 - 直方駅よりタクシー約15分
 - 北九州方面より200号線又は北九州都市高速道路全開ランプで降り、国道200号直方バイパスにて「保木出口」以後直方いこいの村案内版によりお進みください
 - (金剛ランプより約15分)
 - 福岡方面より九州自動車道(関門トンネル)にて降り、北九州方面よりと同じ
 - 田川方面より上鉄信号より右折して主線道路を右にお進み下さい。